

瑠璃樞鳥

blue jay

川本恒一

KAWAMOTO Kouichi

造形芸術学科



1921年に種として国の天然記念物に指定され鹿児島県の県の鳥でもある、ルリカケスを題材として制作いたしました。制作については日本に生息する希少な動物を題材として考えており、九州の鳥でもある事から決めました。ルリカケスと言う鳥は知っているが、実際には見たことがないと言う方が大半ではないかと思います。野生では鹿児島県奄美大島を中心に近隣の離島に生息しているのみで観察が難しく、保護下でも九州だと鹿児島市平川動物公園、他の地域では恩賜上野動物園など数園に限られており、生体を観察するとしても大変希少な鳥です。日本に生息する希少な動物は保護により数を回復している個体もありますが、外来種やイエネコなどの影響で全体的には数を減らしているのが現状です、希少な動物のイラストレーションを制作し目に触れる機会が増えれば保護活動の一助になるのではと考え制作いたしました。作品としては名前にもついている「瑠璃」の青い色を表現出来たのではないかと考えております。

F4 333mm × 242mm デジタル制作後にプリント出力 2024年12月制作 到津の森公園 2025年2月